



カロリナ・ソウザ CAROLINA SOUZA

弁護士

+55 21 3961 8565

+55 21 97605 8375

carolina.souza@lickslegal.com

業務分野

- ・ 訴訟
- ・ 法務・取引
- ・ 特許

言語

- ・ ポルトガル語
- ・ 英語
- ・ 中国語

カロリナ・ソウザ氏は2021年にLicks特許法律事務所のリオデジャネイロオフィスに法務インターンとして入社し、2023年に弁護士となりました。

ソウザ氏の専門分野は、通信業界や製薬業界における特許コンサルティングや訴訟を含む、知的財産権に関する複雑な案件です。Licks特許法律事務所に入所する前は、知的財産権を専門とするブラジルの他の著名な法律事務所でのインターンシップを通じて経験を積んできました。

ソウザ氏は、ブラジル特許庁が初めて開催したイノベーションコンテスト「2021年ハッカソン」において、第4位に入賞しました。このイベントには様々な分野の専門家が集まり、サービスの向上、イノベーション文化の醸成、保護戦略の強化、およびブラジルの知的財産制度におけるデータベースの活用拡大を目的とした技術的ソリューションの開発に取り組みました。

2023年、ソウザ氏は、ブラジル連邦会計検査院 (TCU) が主催する「ギルヘルメ・パルメイラ大臣賞」のコンテストにおいて、行政機関における合意に基づく紛争解決に関する共著論文で第3位を受賞しました。ソウザ氏の職歴や学歴からも、ラテンアメリカと東アジア・東南アジアとの間の法的、政治的、経済的、金融的、文化的な結びつきを強化するという彼女の取り組みがうかがえ、特にブラジルと中国の関係に重点を置いています。

所属

- ・ ブラジル弁護士会 - リオデジャネイロ支部 (OAB/RJ)
- ・ 「Observe China 観中国」法務ディレクター。

学歴

- 法学士(LL.B)、リオデジャネイロ・カトリック大学(PUC-Rio) (2023年)。

著書・論文等

- [「テクノロジー分野における戦略的提携:半導体および通信分野におけるブラジル・中国関係の変遷\(2014-2024年\)」](#)、Macau Journal of Brazilian Studies、2025年
- [「一つは少なすぎ、二つはちょうどいい、三つは多すぎる?」特許出願の審査を請求するには、3年の方がはるかに良い](#)、Migalhas、2024年
- [開発途上国におけるデジタル通貨:CBDCの調整とサンドボックス試験](#)、T20 Brasil、2024年
- [ブラジル・中国協力:通信業界にとって新たな一章となるか?](#) Observa China 观中国、2023年
- [「損害賠償法と個人データ保護の比較法的研究」](#)、CONPEDI、2022年
- [「個人情報保護法\(PIPL\)とハイパーコネクテッドな中国における法の役割」](#)、Observa China 观中国、2021年